

今日からはじめられる長期積立運用のコツ

今回は「そろそろ投資をはじめたいけれどタイミングがわからない」「マーケットの方向性を当て続けるのは難しい」と悩まれる方に、分かりやすい運用のしかたをご紹介しますと思います。それは「定額購入法（ドルコスト平均法）」という手法を用い、長期的に成長が期待できる対象に投資をするというものです。

値上がり・値下がりを感じずコツコツと

定額購入法のメリットは購入時も解約時も、その期間の平均価格で売買できるため、それなりの納得感を持って運用をできることです。特に将来のお金の準備として長期投資をお考えでしたら、このような手法を用いて、リスク（価格変動）の低い商品に投資するのも一手です。

相場の動き（一例）



ドルコスト平均法で一定の金額ずつ購入した場合、平均買付金額は**8,695円**

各時点の買付口数と投資金額

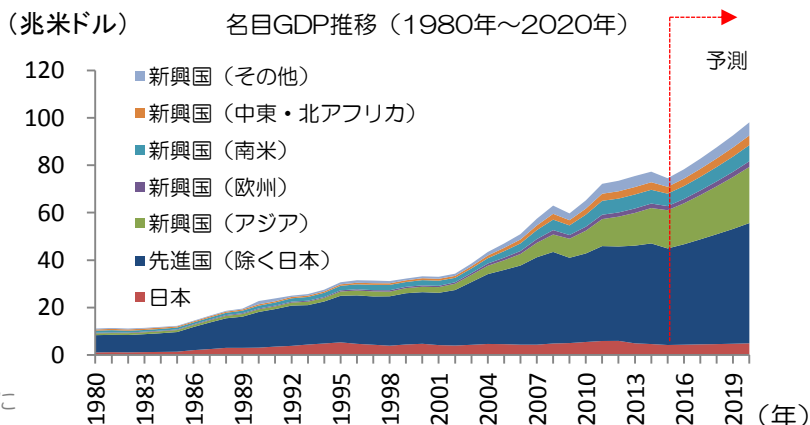
各時点の買付口数と投資金額					合計
1万口	2万口	8333口	1万2500口	6666口	5万7499口
1万円分	1万円分	1万円分	1万円分	1万円分	5万円分

長期的に成長するものとは？

一般的に長期で安定的に成長が見込まれる投資対象は「世界経済」だといわれています。

実はみなさんの公的年金の運用をはじめ、プロの投資家も長期運用では世界経済の成長を享受できるよう様々な商品に投資する「分散投資」を行っています。定額購入法で世界経済の成長を長期で享受する、そんな運用もひとつの選択肢ですよね。

(図：出所) IMF「World Economic Outlook, April 2015」に基づくGSAMが作成（2015年以降はIMF予測値）



本資料は、情報提供を目的としてゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社（以下「弊社」といいます。）が作成した資料であり、特定の金融商品の推奨（有価証券の取得の勧誘）を目的とするものではありません。本資料に記載された過去のデータは将来の結果を保証するものではありません。本資料は、弊社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された市場の見通し等は、本資料作成時点での弊社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更する場合もあります。個別企業あるいは個別銘柄についての言及は、あくまで例示をもって理解を深めていただくためのものであり、当該個別銘柄の売買、ポートフォリオの構築、投資戦略の採用等を推奨あるいは勧誘するものでもありません。本資料の一部または全部を、弊社の書面による事前承諾なく(1)複製、写真複製、あるいはその他いかなる手段において複製すること、あるいは(2)再配布することを禁じます。経済、市場等に関する予測は資料作成時点のものであり、情報提供を目的とするものです。予測値の達成を保証するものではありません。

<審査番号：9646-OTU-46461> © 2015 Goldman Sachs. All rights reserved.